## "専攻建築士"誕生へ

# 182件を慎重審査

### 審査評議会

県建築士会（守真和弘会長）は26日、鹿児島市の県住宅供給公社ビルで17年度専攻建築士審査評議会（議長・友清貴和鹿児島大学工学部教授）を開き、応募のあった182件を審査した。

冒頭、守真会長が「本県では15年度からCPD制度、16年度には専攻建築士制度を開始。今回、182件の応募があり6月に予備審査などを終え、本日の審査になる。そのあと9月に日本建築士会連合会での審議後、11月には専攻建築士が誕生することになる」と挨拶。

基準を満たしているかなどを審議した評議会＝鹿児島市の県住宅供給公社ビルで

本県では初めての審査になることからどのように審査するかなどを話し合い、182件の募集を効率的に審査できるように協力を」と述べ審査に移った。

審査に先立ち、まちづくり、設備、生産、構造、環境、法令の7分野の専攻領域別に分けた。うち、今回は設計、構造、生産、法令の4グループに分けられた提出書類を1件、1件基準を満たしているかなど慎重に審査した。

## 大進技術発表会

# 重豊館長 中澤教授の講演も

㈱大進（山内康功社長）は23日、薩摩川内支店で第6回技術発表会を開き、若手技術者10人が、1年間の研究成果等を発表した。また、串良町柳谷自治公民館（平成14年日本計画行政学会計画賞・最優秀賞受賞）の豊重哲郎館長「ふるさとを創る！」、中澤隆雄宮崎大学土木環境工学科教授「環境負荷の低減が可能なコンクリート」の特別講演もあった。

山内社長は「本日は皆さんが1年間どのような研究をしたかを発表する日ですが、自分の分野外となると分からないことも多い。自分の技術になるようしっかり受講してほしい」と訓示した。

同発表会は若手技術者のプレゼン能力や会話術を高めようと年1回開催、今年で6年目になる。発表後は質疑応答があり、馬比尾孝一技術部長や先輩技術者から厳しい指摘が飛んだ。豊重館長はこれまでの活動を振り返り、「他人の子どもために泣けるか、どうかが地域づくりの原点だった。365日の3日間だけ奉仕活動に参加すればいい。3日間ならば誰もが参加できる。しかも行政や補助金に頼らない自主財源による地域づくりが必要だ」等と話した。

発表会で挨拶する山内社長＝薩摩川内市の同社支店で

「第6回 株式会社大進技術発表会」

## 九電川内営業所セミナー

# オール電化の利点認識

九州電力㈱川内営業所（薗田鶴夫所長）は24日、薩摩川内市西向田町の1階ホールで、新築・リフォームを計画中のユーザーを対象に「オール電化住宅セミナー」を開き、20組40人が参加した。

講師は「住まい選びにゼッタイ大成功する本」の著者、田原祐子氏（㈱ベーシック代表）。

薗田所長は「安全・安心の観点からオール電化をご提案申し上げています。今後の家づくりの参考にしていただければ幸いです」と挨拶。

田原氏は「家づくりは二者択一で、窓を大きくが小さくなる。一つ欲張れば、他の一つを捨てなければなりません。「電化住宅の良さは、油煙が出ないので室内が汚れないこと。漏れるものがないので火災の心配がないことです。24年前の電化マンションの室内は汚れもなく新築時のままで、今では優ション。資産価値も上がりました」等と全国の事例を紹介。最後に「家づくりは親戚や友人の話しよりも、プロのアドバイスを活用することです」と結んだ。

セミナー終了後、参加者はIH調理器を使った料理講習と食事会を楽しんだ。

電化住宅の良さについて学んだセミナー＝薩摩川内市の同社営業所で

## NPO九州エコ・グリーンヘルパー設立

# 竹の有効活用を

NPO九州エコ・グリーンヘルパーは21日、薩摩川内市のホテル太陽パレスで設立総会を開き、代表理事に発起人代表の箱川政己氏（薩摩川内からっぱ共和国大統領）を選任した。

荒廃した山林・竹林の整備や伐竹した跡地に広葉樹を植樹する等の再生活動を行うほか、竹を有効活用した地域事業・竹の循環型システム鹿児島モデル（21世紀竹取物語）の構築を目指す。会には同市や鹿児島市の市民12人が参加した。

箱川代表は「本日の設立で21世紀の竹取り物語が今日から始まります。荒廃した竹林を整備することは緊急な課題です。皆でがんばりましょう」と呼び掛けた。

また、同会は県森林環境税公募事業に応募、「森林の体験活動支援事業」を提案した。

「21世紀の竹取物語」を目指して開かれた設立総会＝薩摩川内市のホテル太陽パレスで

## はやまゴルフコンペ

# 柏原さんが見事優勝

文具紙製品・オフィス家具を中心に提案・販売を行う㈱はやま（羽山清海代表取締役）はこのほど、鹿児島市の南国カントリークラブで第13回はやま杯ゴルフコンペを開き、31人が参加してプレーを楽しみ親睦を深めた。

同日は、好天に恵まれ、8組に分かれてスタート。各コースでナイスショットや珍プレーを連発する人など、和気あいあいとプレーを楽しんだ。

羽山社長は、「多くの方々に参加をいただき、大変うれしく思います。同社も今年40周年を迎えます。今後も皆様からのご信頼に応えられるよう、社員一同新たな決意で努力していきたい」と抱負を語った。

成績は次の通り。

優勝＝柏原孝（㈱内田洋行）▽準優勝＝岩崎達也（㈱レイメイ藤井）▽3位＝田中猛（プラザナカシン）▽4位＝西元広男（鹿児島ハッピー商事）

プレーを楽しんだ参加者＝鹿児島市の南国カントリークラブで

## 小田畳商会、注目集める「洗畳」

# 水洗いできる畳を開発

㈱小田畳商会（小田正弘社長）はこのほど、水洗いできる畳「洗畳（せんじょう）」を開発した。汚れても水洗いできていつも清潔といった特長が受け、県内外のホテルや旅館の浴室の浴場に採用されるなど全国的に広がりを見せ始めている。

この畳は、汚れても簡単に持ち運べて洗えるようにと開発されたもので、素材には水に強いポリプロピレンなどを使用。また、通常の畳（1畳当たり約25kg）と比較し、約8kgと軽量化を図っている。

1枚当たりの価格は、1万円台後半から3万円。やや割高にも関わらず、既に福岡県のホテルが大浴場に全面敷き詰めるなど、県内外から商品に対する問い合わせや注文が相次いでいるという。

本県内での第1号は、指宿市のホテル秀水園。6月末、バリアフリーの客室の浴室に2枚、トイレに1枚、洗面所に2枚の計5枚を納入した。メリットについて、中村浩人予約情報課長は「畳を敷くことにより、お客様が冷たいタイルに座らずに済むので、ゆっくりと温泉を楽しんでいただける」と話す。今後、顧客の反応等を見ながら、大浴場への導入等も検討していくという。

小田社長は「顧客の欲しいものは何だろうということを第一に考え開発した。もともとは老人ホーム用につくったが、ホテル・旅館、福祉施設をはじめ、ペット用や子供部屋など市場は広い。畳屋が提案できる最高のぜいたくでは」と語る。

ホテル秀水園に導入された洗畳

"真心とほほ笑みと"をモットーに!!
家具総合卸
南日本家具工芸㈱
鹿児島市東開町13－30
TEL(099)269－7111　FAX 268－0385